

保育実習理論

平成29年度
後期 10問

問1 次の【Ⅰ群】の用語と【Ⅱ群】の記述を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

A.エプロンシアター

B.ペープサート

C.パネルシアター

【Ⅱ群】

ア：付着性の高い素材に描かれたキャラクター等を広い背景の中で動かすことができる。

イ：英語の「紙人形劇」が、語源ともいわれている。

ウ：保育者が着用したものを舞台として使用する。

(組み合わせ)

	A	B	C
1	ア	イ	ウ
2	ア	ウ	イ
3	イ	ウ	ア
4	ウ	ア	イ
5	ウ	イ	ア

エプロンシアター	エプロンを舞台に見立て、マジックテープをつけた人形をつけたりはずしたり、ポケットから出し入れして、物語や遊びを展開する教材である。
ペープサート	紙に書いた絵を切切り抜いて棒の両面に貼り、その人形を移動したり反転したりしながら、物語や遊びを展開する教材である。
パネルシアター	毛羽立ちのよい布地を貼ったパネルに、不織布でつくった人形を貼ったりはがしたり動かしたりしながら、物語や遊びを展開する教材である。

Aのエプロンシアターの説明はウ、Bのペープサートの説明はイ、Cのパネルシアターの説明はアである。

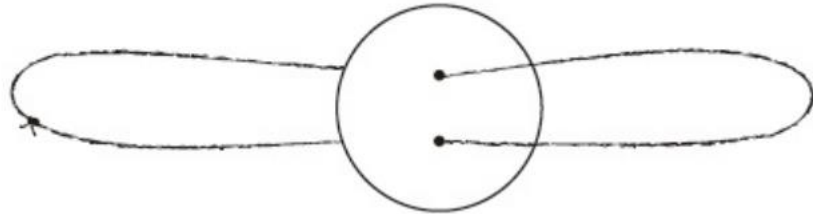
以上より、正しい組み合わせは5である。

問2 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

H保育所の5歳児クラスでは、伝統的なおもちゃの「ぶんぶんごま」を、次の図のように作って遊ぶことにした。厚紙に開けた2つの穴にタコ糸を通して結び、両端を持って、引いたり緩めたりして、回しながら遊んだ。

図

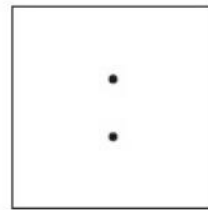


【設問】

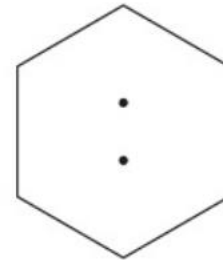
次の1～5は、「ぶんぶんごま」のこまの形とタコ糸を通す穴の位置を示したものである。

「ぶんぶんごま」の仕組みとして、最も回りにくいものを一つ選びなさい。

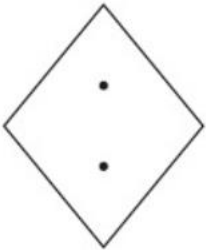
1



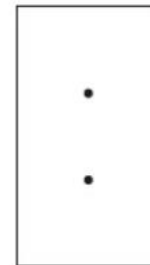
2



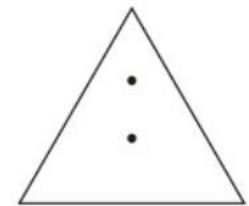
3



4



5



回答

5

解説

ぶんぶんごまは糸の両端を持って厚紙を回すものであり、タコ糸を通す穴の位置を中心として厚紙が左右上下対象である方が回りやすい。

したがって最も回りにくいのは5である。

問3

次の文のうち、保育場面で紙芝居を演じる際の留意点等として、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A. 場面に応じて、ぬき方のタイミングを工夫する。
- B. 舞台や幕を使うことが効果的である。
- C. 声の大きさ、強弱、トーンなどの演出はしない。
- D. 演じ手は子どもの反応を受け止めずに進める。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	×	×
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

回答

2

解説

A-○ 記述通りである。

B-○ 記述通りである。

C-× 作品や紙芝居の特性に応じて、声の大きさや強弱、トーンなどで演出すると良い。

D-× 演じ手は子どもの反応を受け止めながら紙芝居を進めていくと良い。

以上より、正しい組み合わせは2である。

問4 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

保育所に勤務している保育士Kさんは、保育所内外の研修の重要性が高まる中、「望ましい研修像」について考えている。

【設問】

次の文のうち、「保育所保育指針」第7章「職員の資質向上」に照らして、「望ましい研修像」として適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A. 職員の意欲が向上し主体性が尊重されること。
- B. 一人一人の学びの深まりにつながっていること。
- C. 職員間の連携が密であること。
- D. 日々の保育実践に生きるものであること。

(組み合わせ)	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	×	○	○
3	○	×	×	○
4	×	○	○	×
5	×	○	×	○

回答

1

解説

全て記述通りである。

問5 次の文は、保育所に勤務する保育士の役割に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A.保育士は、専門性や人間性を向上させるために、常に自己研鑽することが求められる。
- B.保育課程や指導計画、実践や評価に関する記録など、保育の質の向上に関するものについては、職員間で共通理解を持つ機会を計画的に設ける。
- C.保育士が保護者とお互いに信頼し、協力し合える関係を作るためには、保護者の意向を的確に把握し、保護者の要求をすべて受け入れる必要がある。
- D.保護者との協力体制を築くためには、日頃から保育理念や保育方針、保育内容・方法等を様々な機会を通して保護者に情報提供するとともに、保育参観などを実施することも有効である。

(組み合わせ)	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	○	×	×
3	○	×	×	○
4	×	×	○	○
5	×	×	○	×

回答

1

解説

A-○ 記述通りである。

B-○ 記述通りである。

C-× 保育士の役割として、保護者の要求をすべて受け入れる必要はない。

D-○ 記述通りである。

以上より、正しい組み合わせは1である。

問 6 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

保育所に勤務している保育士Qさんは、3歳児クラスを担当している。Rちゃんは、まだ幼児語を使って話している。例えば、「靴」を「クック」、「猫」を「ニャンニャン」と言う。

【設問】

保育士Qさんは、Rちゃんの言語の発達を促していくための方法について考えている。Rちゃんが「ニャンニャンがいるよ」と幼児語を使って話しかけてきた場合の保育士の対応として適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A. 「ニャンニャンと言ったらだめでしょ。猫でしょう」と訂正し、言い直しをさせる。
- B. Rちゃんの話したい思いを受け止め、熱心に聴く。
- C. 保育士はRちゃんの真似をして、「ニャンニャンがいるね」と対応する。
- D. 保育士は「猫がいるね」と言って対応し、会話を続ける。

(組み合わせ)	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	×	○
3	○	×	×	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

回答

4

解説

A-× 子どもに対し否定的なことを言うのは適切ではない。

B-○ 記述通りである。

C-× ニャンニャン=猫という言葉を知るため、Dの記述のように「猫がいるね」と対応すると良い。

D-○ 記述通りである。

以上より、正しい組み合わせは4である。

問 7

次の文は、5、6歳児を担当する保育士の関わりについての記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A.遊具や用具を介して子どもの遊びや生活が広がり、友達との関わりが深まっていくことに留意し、共同のものを大切にしようとする気持ちや態度が育まれていくよう、保育士は環境を整える。
- B.幼児は言葉の表現が未熟であるため、感情的なぶつかり合いや葛藤がおきないように、保育士はルールを作り、仲間関係の調整をする。
- C.物事には良いことや悪いことがあることに、子ども自身が気づき、考えながら行動できるように、保育士は子どもの行動を見守りつつ、適宜、良いこと、悪いことを明確に示す。

(組み合わせ)	A	B	C
1	○	○	○
2	○	○	×
3	○	×	○
4	×	○	×
5	×	×	○

回答

3

解説

A-○ 記述通りである。

B-× 子どもは自分なりに考えて判断し、けんかを自分たちで解決しようとするなど、お互いに相手を許したり異なる思いや考えを認めたりといった社会生活に必要な基本的な力を身に付けていくため、保育士が仲間関係の調整をしたりルールを作ったりする必要はない。

C-○ 記述通りである。

よって、正しい組み合わせは3である。

問8 次の文は、保育所における指導計画に関する記述である。不適切な記述の組み合わせを一つ選びなさい。

- A.指導計画の作成に当たっては、子ども一人一人の発達過程や状況を十分に踏まえる。
- B.長期的な指導計画とは、子どもの生活や発達を見通した、月と週の計画を指す。
- C.指導計画に基づく保育の実施に当たっては、担当の保育士がすべての責任をもって、単独で行う。
- D.指導計画に基づく保育の実施に当たっては、子どもが行う具体的な活動は、生活の中で様々に変化することに留意して、子どもが望ましい方向に向かって自ら活動を展開できるよう必要な援助を行う。

(組み合わせ)

- 1. A B
- 2. A C
- 3. B C
- 4. B D
- 5. C D

回答

3

解説

A-○ 記述通りである。

B-× 長期的な指導計画は、主に年間の計画である。月や週の指導計画は短期的なものであり、具体的な子どもの日々の生活に即したものである。

C-× 「保育所保育指針」より、指導計画に基づく保育の実施に当たっては、担当の保育士だけではなく、施設長や他の保育士などすべての職員による役割分担と協力体制を整えることとされている。

D-○ 記述通りである。

以上より、正しい組み合わせは3である。

問 9

次の文は、児童養護施設での実習における事前指導で、実習指導担当者が実習生に説明した内容である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A. 実習で知り得た入所児の個人情報、福祉現場の理解を深めてもらうため、家族や友人に話しても構わない。
- B. 実習記録には、大学等での事後指導で振り返りができるように、利用者名を実名で記述しなければならない。
- C. 福祉現場の具体的な状況を広く一般に知ってもらうために、実名を伏せればSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）に利用者の写真を掲載してもよい。
- D. 入所児から携帯番号などの個人連絡先について教えてほしいと求められた場合は、可能な限り応じるようにする。

(組み合わせ)	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	×	×

回答

5

解説

全て不適切な記述である。

- A. 実習で知り得た入所児の個人情報、福祉現場の理解を深めてもらうため、家族や友人に話しても構わない。
- B. 実習記録には、大学等での事後指導で振り返りができるように、利用者名を実名で記述しなければならない。
- C. 福祉現場の具体的な状況を広く一般に知ってもらうために、実名を伏せればSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）に利用者の写真を掲載してもよい。
- D. 入所児から携帯番号などの個人連絡先について教えてほしいと求められた場合は、可能な限り応じるようにする。

問 1 0

児童養護施設で実習を行ったSさんは、事前に立てた「実習目標」に基づいた取り組みを行った。次の文は、Sさんが取り組んだ内容についての記述である。実習内容として不適切な記述を一つ選びなさい。

1. 「子どもたちの名前を覚え、1日の生活の流れを学ぶ」ために、保育士の行う業務について一緒に取り組んだ。
2. 「子どもたちに積極的にかかわり、それぞれの行動上の特徴を知る」ために、子どもたちと一緒に遊んだり、勉強を教えたりした。
3. 「子どもたちの言動の背景について検討する」ために、子どもたち全員に入所理由や家族の所在などの個人情報について直接質問した。
4. 「職員間の連携について学ぶ」ために、家庭支援専門相談員や心理療法担当職員から業務内容について話を聞いた。
5. 「実習体験をもとに省察・自己評価を行う」ために、それまでの実習への取り組みおよび認識について実習指導担当者から助言を得た。

回答

3

解説

1-○ 記述通りである。

2-○ 記述通りである。

3-× 児童養護施設には、保護者がいなかったり虐待されたりして入所する子どもが主に入所しているため、入所理由や家族の所在などの個人情報を子どもに直接することは不適切である。

4-○ 記述通りである。

5-○ 記述通りである。